

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

高磁場 MRI (magnetic resonance imaging) 装置と VEP (visual evoked potential) モニタリングを用いた前頭蓋底腫瘍摘出における視覚路の機能解析と視機能予後規定因子に関する研究

1. 研究の対象

2017年7月1日-2027年3月1日の間に研究責任者が執刀した、視神経との接触、圧排、巻き込みのある前頭蓋底良性脳腫瘍症例（髄膜腫、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫等）を対象とする。

2. 研究目的・方法

目的

下記の試料・診療情報等を利用し、腫瘍によって障害された視神経の回復について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において視神経との接触、圧排、巻き込みのある脳腫瘍の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに MRI 画像のデータ、視力視野検査結果を選び、視力回復に関する分析を行い、視力障害の出現する仕組みについて調べます。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：診断名、年齢、性別、検査結果（MRI 画像、視力視野検査結果）等
- ・ 試料：該当なし

4. 情報の提供先・提供方法

該当なし

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2300）

研究責任者 脳神経外科 野中洋一

問い合わせ担当者 脳神経外科 野中洋一